



2024年7月1日 第40号

J P 労組新潟連協退職者の会  
 〒951-8799 新潟市中央区東堀通  
 七番町 1018 新潟中郵便局内  
 発行責任者 会長 山田 太郎



## 第二回支部代表者会議・ 第四回幹事会合同会議開催！

6月13日、第二回支部代表者会議・第四回連協幹事会合同会議を新潟市万代市民会館において、22名の出席により開催しました。

内藤副会長を座長に選出後、山田会長より①直近の主要選挙結果と政治情勢、②退職者の会の組織現状、③連協設立10周年総会についての挨拶を受けた後、連協福井議長より新潟市で第17回定期全国大会を迎えるに当たって運動3課題(組拡・共済・みらい研)の現状についてご挨拶がありました。

議事では、能登半島地震関係の報告及び会員拡大や「小沢まさひと」参議院議員選挙の取り組みをはじめ、2024年度活動計画・

予算案の素案などについて認識合わせを行いました。

主要議題である会員数については4月1日現在、1,863名で前年から68名減少と逓減状態が続いており(退職者の会結成当初からは630名・25%の減少)、8月〜9月にかけて現役支部と今後の対応について改めて協議の場を設けることを確認しました。

また、「小沢まさひと」選挙については6月15日、16日に迫ったブロック別集會参加体制、後援会集票状況の確認などを行い、今後のスケジュール感について、議論の上、再度意識統一をはかったところで(裏面参照)。

最後に牧副会長より本会議のまとめを行い閉会となりました。

### ～ 信越地方退職者の会第2回幹事会 ～

信越地方退職者の会第2回幹事会が5月21日、上越市で開催されました。

信越地方退職者の会山田会長挨拶及びJP労組信越地方本部塚野委員長からご挨拶をいただきました。

その後、青木事務局長から活動報告、中央幹事会報告等の後、1)会員拡大、2)第10回地方総会対応、3)小沢まさひと選挙対策の各議題について協議しました。議論が白熱し、



閉会時刻をオーバーして終了しました。

〈塚野委員長  
あいさつ〉

# “小沢まさひと” Information Garden



【オーレンプラザ】  
上越支部・明地さんより  
自家製米の贈呈



## ～安心して暮らし働ける未来づくりをめざす～ 信越ブロック別集会の開催

6月15日に上越市「高田城址公園オーレンプラザ」と長岡市「中之島文化センター」、16日に胎内市「産業文化会館」と新潟市「ガレツソホール」の4会場において標記集会が開催されました。

集会は、信越地本塚野委員長の主催者あいさつに続き、JP労組中央本部・篠原副委員長から郵政事業の抱える課題と将来ビジョンについて提案がされました。その後、組合員から職場の課題等について意見・要望が出されました。



【中之島文化センター】

後半は、小沢参議院議員より、今国会における最大の論点となっている、政治資金規正法の改正案について、抜け穴だらけのザル法であることや裏金事件の真相が何一つ解明されていないこと等、舌鋒鋭くアクションを交え糾弾されていました。郵政事業については、将来ビジョンの実現により持続可能な事業体質の構築をめざす必要性を訴え、大変に盛り上がった集会となりました。



【ガレツソホール】



【産業文化会館】



会場	退職者の会対象支部	退職者の会参加数	参加総数（現退）
オーレンプラザ	上越・魚沼	100	244
中之島文化センター	中越・三条	100	264
産業文化会館	下越・新津	72	205
ガレツソホール	新潟・佐渡・西蒲原	45	178

【今、夏号より“小沢まさひと” Information Garden（情報庭園）を掲載します】

第1号議案

J P 労組新潟連協退職者の会 / 第10回定期総会

2024年度活動計画 (案)

はじめに

J P 労組退職者の会が2014年4月に結成され、新潟連協退職者の会においては同年7月28日、新潟市で設立総会を開催し10周年を迎えました。

新潟連協退職者の会運営規則第4条では、「(1)会員相互の親睦と福利の増進をはかり、社会福祉の向上に向けた活動を行う。(2) J P 労組の基本理念に基づいた活動を展開し、J P 労組および新潟県退職者連合と連携し、退職後の生活と権利を守る諸活動を進める。」とあり、2点の趣旨・目的を明確にして活動を進めてきました。

一方、J P 労組退職者の会組織が結成されて以降、全国的に会員の減少傾向が続いており、新潟連協退職者の会においても結成当初の2,493名から2024年4月1日現在1,863名と630名減(25.3%減)となっています。

会員の減少傾向の歯止めと拡大の一助に向け、2023年のJ P 労組第16回定期全国大会において

「満60歳を超えて正社員や高齢再雇用社員等で働くすべての組合員を協力会員とする。」旨の規約改定が行われました。2024年度も現役連協・支部と連携をはかり、正会員の拡大をはじめ協力会員の把握とフォローを密に行います。

元日発生した能登半島地震では石川県能登地方はもとより、新潟県内においても大きな揺れや液状化による家屋等の損傷などが新潟連協退職者の会会員に34件発生しました。日本中いづこでも発生しうる自然災害。改めて、「助け合い、支え合い」運動の原点である共済活動の周知浸透をはかるとともに、適宜学習会を開催します。

さて、ロシアによるウクライナ進攻から2年4ヶ月、イスラエルとパレスチナの戦闘から8ヶ月が経過し、憂慮すべき事態が続いています。世界はいま、力を背景に一方的な現状変更を迫る動きが広がっています。

このような背景の中で日本でも平和の危機が強調され、安保関連三文書や防衛費の倍増など、安全保障の見直しが急激に進められています。昨年度に引き続き、憲法や平和などについて考えていく学習会の開催を検討します。

J P 労組第16回定期全国大会では2025年夏に迫った第27回参議院選挙に組織内候補として、2期目に挑む「小沢まさひと」参議院議員の擁立を決定しました。既に諸活動に取り組んでいます。2024年度は会員一人ひとりに「小沢まさひと」の名前や政策を伝え、1票1票を固めていく1年とし、勝利に向けた認識の統一をはかります。

岸田内閣や自民党はこの間の「裏金」問題から世論への感性の無さや自浄作用が無いことを露呈するとともに、生活必需品の物価高騰への有効な対策は打てず、支持率は激減しています。結果、衆議院解散・総選挙は

遠のいたとの憶測がある一方、「政局の一寸先は闇」とも言われています。新潟県内小選挙区は6区から5区に減少し、取り組みの難しさもあります。新潟県退職者連合や地域共闘、現役信越地本と新潟連協との意思疎通をはかり、新潟連協退職者の会の任務を果たします。

コロナ禍における政府の行動規制が緩和され、1年2ヶ月が経過しました。引き続き感染防止に留意し、退職者の会の活動の基本である「懇親・交流」や「社会参加の機会」が広がることを期待し、以下、2024年度の活動について提案いたします。



1 連協退職者の会の組織と具体的な活動

(1) 連協役員の任期

第9回連協定期総会で選出された連協役員の任期は、第11回定期総会までの2年間とされています。

(2) 連協幹事会の構成

連協三役4名(会長・副会長2名・事務局長)、支部選出幹事10名、会計監査2名、連協議長(計17名)の構成とします。

(3) 企画会議(連協三役会議)

連協三役による企画会議を支部代表者会議、幹事会及び定期総会前に開催します。

(4) 連協幹事会及び支部代表者会議

規約上、連協幹事会は年4回の開催となっていますが、必要に応じ臨時幹事会を開催します。また、連協全体の意思統一をはかるため、連協幹事会と

合同の支部代表者会議を行います。

(5) 会費徴収の取り組み

今年度も自払いによる会費徴収を連協で行います。名簿の現行化、会費納入会員の管理等、各支部の協力を得て進めます。

(6) サークル活動(ゴルフ大会)

第9回「悠友会」主催のゴルフ大会を、2024年10月4日(金)長岡市の「出雲崎ゴルフクラブ」で開催します。より多くの会員から参加していただけるよう連協退職者の会として大会をサポートします。

(7) 機関紙の発行

機関紙「春夏秋冬」の年4回発行と必要に応じ特集号を発行します。引き続き「元気で生き生きコーナー」や「作品投稿コーナー」への寄稿にご協力をお願いします。

2 会員拡大の取り組み

(1) 3月末退職時の取り組み

3月末の退職時に合わせて正会員の拡大行動を展開します。具体的には、連協幹事会・支部事務局長会議(2025年3月)及び現役との合同会議を開催し、退職情報や具体的な進め方について意思疎通をはかり、3月～5月期を拡大集中期間として取り組みます。

(2) 具体的な活動

具体的な取り組み等については、第1回連協幹事会の年間執行方針で提案します。

3 JP 共済生協及び福祉活動への参加

老後が豊かに暮らせる福祉政策の充実を目指すことはもちろんですが、新潟県労働金庫、こくみん共済 coop、新潟推進本部、コープデリにいがた、新潟県

労福協の活動は、地域の助け合い運動の基本となるものです。地域退職者連合と連携し、安心・安全な生活をめざす活動に協力します。

(1) JP 共済生協の取り組み

① 会員相互の扶助活動として、JP 共済生協と協力し会員福祉の充実に努めます。具体的には、支部代表者会議等の学習会を企画します。

② JP 労組信越地本主催の支部共済担当者会議(前期・後期)に参加します。

(2) ろうきんシニア倶楽部との連携

ろうきんシニア倶楽部への加入呼びかけと併せ、高齢者を対象としたシニア倶楽部主催のセミナー・研修会等へ参加します。

(3) コープデリにいがたとの連携

会員サービスの向上を目的

として「コープクルコ」と「コープにいがた」が事業統合し、「コープデリにいがた」が誕生して2年が経過しました。夕食宅配をはじめ宅配事業の周知等を行います。

(4) 地区労協運動への参加

県内10カ所ある地区労協では、高齢者や一人暮らしの方の生活全般にわたる相談事業や生活支援等を行っています。NPOや行政との連携及び対応など、地域退職者連合の仲間と連携し活動に参加します。

(5) 健康年齢を延ばす活動

健康寿命は、過去10年間で男女とも2歳前後(現在・男性72.68歳/女性75.38歳)延びています。「体を動かす」、「頭を使う」、「会話をすること」は、高齢者が健康を保つための秘訣です。退職者の会の活動や地域の活動に積極的に参加します。

4 政治課題の取り組み

(1) 政治への関心を高める取り組み

私たちの暮らし・生活は、政治と密接につながっており、政治に無関心でも無関係でもいられません。様々な機会を通じ政治意識の高揚に努めます。

(2) 国政選挙の取り組み

解散・総選挙の想定はできませんが、新たな選挙区の中で連合地協や地域退職者連合等、各地域の要請に基づき対応します。また、2024年度内はJP労組組織内「小沢まさひと」参議院議員、及び新潟選挙区「打越さく良」参議院議員の再選に向けた取り組みが佳境に入ることから、連協・支部間では往復運動を更に緊密にし選挙戦を進めます。

(3) 郵政未来研究会(みらい研) 取り組み

郵政未来研究会はJP労組の政治団体です。JP労組の政策実現に向けた対応や、組合員及び退職者の政治意識の高揚をはかるべく政治学習会等の活動を展開しています。連協全体の加入率25%達成をめざします。

(4) みらい研「政治学習会」

現退合同による政治学習会の開催を検討します。

5 退職者連合との連携強化

(1) 新潟県退職者連合との連携  
新潟県退職者連合の主催する学習会、各種署名・カンパ

など、平和と民主主義、年金・医療・介護など、社会保障制度の充実をめざした活動について積極的に参加します。

(2) 地域退職者連合への活動参加

県内11カ所の地域退職者連合へ23名の役員を派遣し地域活動を担っています。地域によって活動内容はさまざまですが、連合新潟の県内各地域協議会や地区労協との連携を深め、安心して暮らせる豊かな地域づくりに協力します。

新潟連協退職者の会  
第10回定期総会 次第

- ・日時 2024年7月30日(火)  
10時30分開会
- ・会場 新潟市「新潟東映ホテル」
- ・議事 1)2023年度活動報告  
2)2023年度会計報告  
3)会計監査報告  
4)第1号議案  
2024年度活動計画(案)  
5)第2号議案  
2024年度予算案(案)  
6)その他

※ 総会終了後、10周年記念レセプションを開催

## 第2号議案

## 2024年度予算(案)

(2024年4月1日～2025年3月31日)

## (収入の部)

## &lt;一般会計&gt;

項目	予算額	摘要
繰越金	1,925,900	
会費	4,000,000	1,558名×2,500円+70名×1,500円
雑収入	10	利子
合計	5,925,910	

## (支出の部)

項目	予算額	摘要
支部費	1,558,000	1,558名×1,000円
慶弔費	814,000	1,628名(1,558名+70名)×500円
総会費	100,000	J P 労組一般会計以外の経費
幹事会費	250,000	三役会議、幹事会補助等
会議費	400,000	支部代表者会議等
地域活動費	250,000	地域退職者連合等地域活動経費
組織関係費	500,000	支部総会、打合せ会、会計監査等
情報関係費	440,000	機関紙4回(印刷費及び送料等)
教育文化費	20,000	連協サークル活動補助等
事務費	350,000	消耗品費、通信費、事務費、振込手数料等
自払手数料	98,890	ゆうちょ自払手数料(1,558名×55円)+BIZ料金(毎月1,100円×12ヶ月)
予備費	1,145,020	
合計	5,925,910	

※ 連協総会費及び連協幹事会費(年4回)はJ P 労組一般会計より措置されます。

## (収入の部)

## &lt;組織慶弔会計&gt;

項目	予算額	摘要
繰越金	2,028,317	(寄付金 2,871,344円)
会費	814,000	1,628名(1,558名+70名)×500円
雑収入	25	利子
合計	2,842,342	

## (支出の部)

項目	予算額	摘要
喜寿祝い給付金	580,000	116名(該当者)×5,000円
香典給付金	500,000	100名×5,000円
事務経費	129,600	216件×600円、振込手数料
組織慶弔制度安定基金	150,000	2024年度積立額150,000円
繰越金	1,482,742	次年度繰越
合計	2,842,342	

## [2024年度信越地方組織慶弔制度安定会計(新潟連協分)]

繰越金	450,000	収入	150,000	支出	0	繰越額	600,000
-----	---------	----	---------	----	---	-----	---------

## (収入の部)

## &lt;共済交付金特別会計&gt;

項目	予算額	摘要
共済交付金	500,000	J P 共済生協本部
インセンティブ	50,000	JP共済信越地方部(新規加入)
合計	550,000	

## (支出の部)

項目	予算額	摘要
支部交付金	465,750	会員数1,863名×250円
インセンティブ	50,000	支部交付
連協支出金	34,250	支部代表者会議、振込手数料等
合計	550,000	

# 長寿で健康生き生きコーナー



【写真左：古川さん、右：野上さん】

私は昨年(2023年)の11月で80歳になりました。職場を64〜65歳で辞めたときには80歳までこの世に居られるのかと思っていました。職場を離れ孫の世話をしながらも、健康を考え身体に良いことをやりたいと思うようになりました。

そんな頃、新潟市のお知らせ情報で年齢、性別に関係なく合気道を習う人の募集があったので、合気道のなにかも知らずに不安を持ちながら道場に行きました。これまで色々なことに興味をもってやるのですが意志薄弱でどれも長続きしませんでした。

## ～合気道と私、そして健康～ 新潟支部・古川 勝美さん (80歳)

こんな性格の自分でしたが合気道の理念、特徴が自分に合ったのと、館長である師範の暖かい指導と仲間との稽古が楽しかったので続けることが出来ました。途中で膝等を痛めて休むこともありましたが、4年ほどで初段になり袴を履くことも出来ました。

武道には柔道、剣道、空手等がありますが、合気道には試合がないので勝ち負けがありません。そのため他人との強弱や優劣を争う必要がなく、攻撃してきた相手に対して技を返す「受け」の武道です。お互いに稽古を積み重ね自らの心身鍛錬を図る武道です。

初段になってからは自らの考えで上の段を目指せずに健康第一に考え怪我をさせない、怪我をしないことを大切にして老体になりましたが合気道の稽古を続けています。

＊写真は同じ道場で共に鍛錬に励む野上政孝さんと撮りました。野上さんは新潟支部退職者の会の会員です。4年前に熱心な稽古で今年1級になりました。



### ♪季刊誌「朱鷺」のお知らせ♪

佐渡ゆかりの俳句愛好者でつくる季刊誌「朱鷺」の第60号が刊行され、創刊15周年を記念した俳句大会が3月、佐渡市で開催されました(新潟日報3月26日付記事)。

この度、佐渡支部退職者の会の赤塚守(俳号 五行)さんより大会開催のお知らせがありましたので、当機関紙で周知する次第です。なお、興味のある方は五行さん宛に連絡していただければ、先着10名様に見本誌を差し上げるとのことです。

連絡先・佐渡市泉乙628-1 赤塚五行方「朱鷺」発行所

## 投稿コーナー

### 俳句

※ 去年今年

いのちの余白リンクする

※ にびいろに

暮るる元日 大曼蛇羅

※ 雪握り

占む掌に赤き 生命線

※ 冬眠や

流離う熊に 人に地震

※ 付き纏う

赤信号や 狐火も

西蒲原支部

原田 耕治

# お知らせコーナー

## おめでとうございます

## お悔やみ申し上げます

慶事	月	お名前	支部
喜 寿	3月	更科好彦	下越
		阿部修三	下越
		渡辺イツ子	西蒲原
		田辺春男	三条
		霜田一二	中越
		村田豊	中越
		渡辺静一郎	中越
		田所良三	中越
		武内智	上越
		白川義和	上越
		高橋巳子	上越
	吹山清	上越	
	4月	海老名康男	佐渡
		上野弘	三条
		山崎益雄	中越
		浅井計一	魚沼
		村山松男	上越
	5月	浅野潔	上越
		五十嵐隆	下越
		土田正義	下越
		田中誠	新津
松本憲作		新津	
山崎誠		中越	
中俣作朗		魚沼	
寸山正夫	上越		
大竹覚	上越		

月	お名前	支部	ご逝去日	
3月	藤岡晃太	上越	1日	
	藤田正敏	中越	5日	
	小林俊夫	新津	7日	
	渡辺健一	新津	7日	
	滝井保	魚沼	11日	
	村越清喜	中越	14日	
	上野徳治	上越	20日	
	森田昭治	上越	22日	
	田中優	中越	23日	
	杉本チイ	新潟	27日	
	梶原明子	新潟	29日	
	4月	丸山和子	中越	6日
		矢澤邦行	上越	8日
宮田正雄		上越	11日	
高橋武夫		中越	12日	
青木宣雄		下越	13日	
降旗テル		新津	16日	
北村淳一		魚沼	24日	
南波與一郎		上越	26日	
竹内靖男		上越	28日	
5月	木村征二	新潟	3日	
	上木政尚	三条	8日	
	小林文夫	西蒲原	20日	
	堀和子	新津	22日	
	佐藤芳男	下越	31日	
	2023年 横野不二夫	新潟	10月23日	

※ 紙面の都合上「新規加入会員」のお名前・支部は「秋」号に掲載します！

### 雑感

◆ J P 労組退職者の会が結成されて 10 年。この間、新潟連協退職者の会は連協・支部役員の献身的な取り組みと活動に対する会員の皆さまのご理解・ご協力、そして現役地本・連協・支部と綿密に連携を深めてきた。結果、全国に誇れる組織と運動を構築できていると確信している。改めて、先輩方に感謝申し上げます。

◆ しかし、組織は常に鍛錬し、緊張感を持たなければ、生物と同じで衰退していくとされている。日本有数の企業や行政機関、某政党などがその病魔に侵され、戦々恐々としている姿を見るにつけ、「親睦と交流」を第一義とする私ども退職者組織であっても、

< 佐渡市議会議員選挙・組織内議員結果 >

4月14日、佐渡市議会議員選挙が施行され、JP労組組織内“中川健二”氏が2期目の当選を果たされました。

当選御礼と二期目の決意

これからも佐渡の素晴らしさをアピールし続けます。そして、農業・林業・水産業・観光・環境・介護・育児・子育て支援・教育の様々な分野の皆さまからの声を聴き、佐渡の発展に向け精一杯努めます。

温かいご支援ありがとうございました。

佐渡市議会議員 中川 健二